

県の広がり「県の交通の様子」

指導目標	<p>◎自分たちの住む県の様子に関心をもち、意欲的に調べるとともに、その特徴やよさを考えようとしている。</p> <p>◎自分たちの住む県や市町村の位置、県の様子について学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地形や交通網の様子、主な都市の位置の相互の関連やそれらと人々の生活とのかかわり、県の特色やよさを考えて、適切に表現している。</p> <p>◎47 都道府県の名称や位置、自分たちの県や市町村の地理的位置、県の地形や交通網の様子、主な都市の位置について、これまで学習してきたことや地図、その他の資料を活用して新たに調べたことを整理してまとめている。</p> <p>◎47 都道府県の名称や位置、自分たちの県や市町村の地理的位置、県の地形や交通網の様子、主な都市の位置を理解している。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>県内を通る主な道路や鉄道などの交通網を地図に示すことで、鉄道の大切さについて考えるとともに、地形や市街地の分布と鉄道を関連付け、鉄道が人々の生活を支えていることを理解することができる。</p>
対象学年	4 年生
対応教科	社会科
標準校時	8 コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">1. 鉄道の大切さや問題点を考える</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が環境に優しい乗り物だということを理解し、利用者数の変化や利用者層のグラフ等から、公共交通の問題点について考える。 <p style="text-align: center;">2. 鉄道の敷設図と市街地を関連付けて考える</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の敷設図と市街地の地図を見ながら、駅が市街地や市街地の近くに多く存在することや鉄道が市街地を結んでいることを確認する。 <p style="text-align: center;">3. 県の鉄道はどのように広がっているんだろう</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地図と駅が書かれた地図を見ながら、線路が走っているところを予想する（ワークシートに書き込む）。 ・人が多く住んでいるところには鉄道が集まっていることに気づく。 ・鉄道は県内の市町村をつなぐことで、鉄道が町と町、人と人をつないでいることを確認する。 <p style="text-align: center;">4. 学習の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りをする。 </div>

5 本時の学習 (7/8時)

(1) 本時のねらい

- ・ 鉄道の大切さについて考えるとともに、富山県の鉄道の様子について、市街地の分布と関連付けて理解することができる。

(2) 本時の展開

学習内容と活動 ・ 予想される児童の反応	○指導上の留意点 ●支援が必要と予想される児童への手立て ◆評価規準【評価方法】
1 鉄道の大切さや問題点について考える。 ・ バスや鉄道といった公共交通は環境に優しい乗り物なんだね。 ・ これからはもっと公共交通を使うといいね。 ・ 10代の利用者が多いのは、高校に通学する人のことだね。 ・ 50代の利用者が多いけど、若くなるほど利用者が減っているよ。若い人が利用しなくなっているんだね。車を利用しているんじゃないかな。	○ 1人を1km運ぶために排出する二酸化炭素の資料(自家用車、航空、バス、鉄道の比較)から、公共交通が環境に優しい乗り物だということを理解させる。 ○ 公共交通を利用する人・利用者数のグラフから、公共交通の問題点について考えさせる。 ◆ 具体の評価規準〈知識・理解〉 鉄道の大切さについて考えたり、話し合ったりしている。 【発言・ワークシート】
2 高山本線の敷設図と市街地を関連付けて考える。 ・ 駅の近くは市街地が多いよ。 ・ 高山本線は市街地を結んでいるよ。 ・ たくさんの人が利用できるよになっているんだね。	○ 高山本線の敷設図と市街地の地図を用意し、それぞれの駅が市街地や市街地の近くに多く存在することを確認する。
富山県の鉄道はどのように広がっているのだろう	
3 富山県の鉄道の様子を市街地と関連づけて考える。 ・ 富山県全体でも鉄道は市街地を通るんじゃないかな。 ・ 駅と駅を結んでいけばいいね。 ・ 鉄道はピンク色の市街地の部分を多く通っているみたいだね。 ・ 富山市や高岡市に鉄道が集まっているみたいだね。たくさんの人が住んでいるからかな。	○ ワークシートを用意し、児童が線路の様子を予想し、書き込めるようにする。 ● 理解に時間のかかる児童には、時折声をかけ、理解しているかを確認したり、より理解力が深まるよう、個別に支援をしたりする。 ● 分かりづらい発言については、「～さんの意見が分かった人？」と聞き、他の子に説明させることで、理解に時間のかかる児童にとっても分かるようにする。 ○ 富山県の鉄道の様子が分かるように鉄道の路線図を用意しておき、見せるようにする。 ○ 授業のねらいに迫るキーワードを提示し、その言葉を必ず入れて学習の振り返りを行うことによって、ねらいに迫れるようにする。 ◆ 具体の評価規準〈思考・判断・表現〉 富山県の交通網の様子を主な都市の分布と関連づけて考え、話し合ったり白地図やワークシートに表現したりしている。 【発言・ワークシート】
4 学習の振り返りをする。 ・ 公共交通は環境に優しい乗り物なんだね。 ・ 鉄道って人びとのくらしになくてはならないものだと分かったよ。 ・ 鉄道は町と町、人と人をつなぐものなんだね。 ・ 富山駅周辺はたくさんの人が住んでいるから、たくさんの鉄道が集まっているよ。 ・ 高岡市にも、たくさんの鉄道が集まっているね。 ・ 鉄道は富山県の市町村をつないでいるみたいだね。	

(3) 授業の視点

社会的事象のつながりをとらえる上で、書き表す活動や言葉かけ、資料やワークシートの準備や板書での整理などの支援は効果があったか。

